

平成21年10月 日

保護者様

広島市立船越小学校

校長 吉岡 克弥

全国学力・学習状況調査の結果活用について

平成21年4月21日(火)に、全国の6年生を対象に文部科学省が主催する「全国学力・学習状況調査」を実施しました。

調査内容は、

- ・ 教科に関する調査
- ・ 生活習慣や学習環境に関する質問調査

という2つの内容です。

教科に関しては、国語と算数の2教科で、

- ・ A問題...主として知識に関する問題
- ・ B問題...主として活用に関する問題

に分けて出題されました。

その結果が、このたび通知されました。本校では、この調査結果にもとづき、傾向や課題について分析を行ったところです。この調査結果が本校児童の全ての実態や課題を示すものではありませんが、指導の改善に生かすべき多くの視点・示唆を含んでいることは確かです。この点について全校を挙げて意図的な指導の積み重ねを図り、確かな学力の定着に向け、力を尽くしていきたいと考えています。

ただし、本調査は4月に行ったものであり、5学年終了時の学力調査です。今回の結果が現在の児童にそのまま当てはまるものではありません。また、児童の答案用紙は専門機関に送っておりますので、あくまでも関係機関からのデータに基づいて数値を頼りに分析したものであります。ご了承ください。

この結果を参考に、これまで担任を中心に誠心誠意、ていねいに指導してきたことに自信を持ち、これからも着実に一つずつ、指導を積み重ねて参ります。これまで同様、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自ら教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の期日 平成21年4月21日(火)

3 調査実施学校数(公立学校)等

小学校 第6学年	調査実施校数			調査実施者数			
	国	県	市	国	県	市	本校
	21,482校	545校	140校	1,137,844人	26,002人	10,870人	80人

4 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語・算数)

A問題(主として知識に関する問題)

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

B問題(主として活用に関する問題)

- ・知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

学校に対する調査

- ・指導方法に関する取り組みや人的、物的な教育条件の整備の状況、運動能力の全体的な状況等に関する調査

5 各教科の平均正答率

国語A問題				国語B問題				算数A問題				算数B問題			
国	県	市	本校	国	県	市	本校	国	県	市	本校	国	県	市	本校
69.9	72.9	71.9	72.2	50.5	53.8	53.2	48.3	78.7	81.3	80.7	78.6	54.8	56.6	57.1	54.0

6 各教科の調査結果の概要

国語A

国語B

< 領域ごとの定着状況 >

	全国	市	本校
話す・聞く	68.0	72.2	62.5
書くこと	85.4	85.8	85.9
読むこと	68.7	68.5	65.6
言語事項	64.2	66.5	67.9

	全国	市	本校
話す・聞く	61.3	64.0	58.5
書くこと	14.5	16.5	13.8
読むこと	56.5	59.8	54.2
言語事項	59.7	62.5	60.0

< 問題形式による定着状況 >

	全国	市	本校
選択式	80.1	79.9	79.5
短答式	65.9	68.5	69.9
記述式	68.0	72.2	62.5

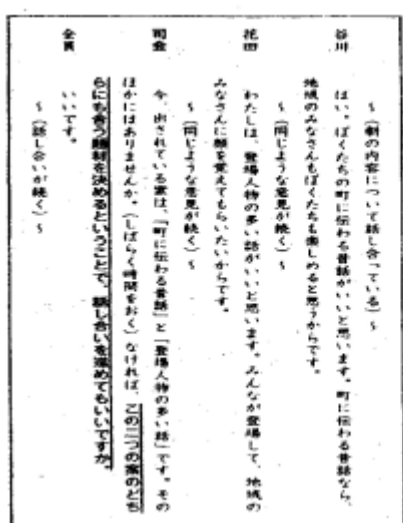
	全国	市	本校
選択式	65.8	68.6	63.8
短答式	48.7	50.1	46.3
記述式	46.0	49.2	43.8

国語の定着状況は、

A問題は、国・市の正答率に比べ上回っており、一定の成果を上げている。特に言語事項の項目で高い正答率になっており、漢字の読み書きやローマ字の習得など、帯タイムや家庭学習等でのくり返し学習で、基礎基本の定着には、一定の成果が出ていると思われる。例えば、

A1-1(1) 駅は混雑している	読みを答える。(本校 96.3 %、国 95.2 %)
A1-2(2) 人の意見に<u>さんせい</u>する。	漢字で書く。(本校 88.8 %、国 78.3 %)
A2-1 <u>くすり</u>	ローマ字で書く。(本校 91.3 %、国 69.4 %)

上のような問題では、高い正答率であった。



7
 一次は谷川さんの手紙で、地域の人たちの交差点で行う内容について話し合った。手紙の一部です。――
 朝は、町会長の進め方の良いところですが、どのようなところが良いか、説明してほしいです。

一方、A問題においても、「話すこと・聞くこと」の項目は低調で、左のように、話すこと、聞くことのポイントをつかむような問題の正答率が低くなっていた。

本校で、取り組んでいる「ことばタイム」をより一層進めていくことや、「読書タイム」等を通じて、文章を読むことに抵抗なく取り組めるよう、今後もより一層充実させていきたい。

次に、B問題に関しては、全体的に課題が見られ、特に「書くこと」の項目が低く、次のような問題が正答率が低かった。

次に、B問題に関しては、全体的に課題が見られ、特に「書くこと」の項目が低く、次のような問題が正答率が低かった。

◆平成二十一年の第一小学校六年生の平均タイム

一つめとして、ぼくら六年生の平均タイムを調べた。

まず、体育の時間に学年全員の五十メートル走のタイムを計った。走った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。

次に、平均タイムを先生に出してもらった。平均タイムは、男子は九秒〇、女子は九秒三だった。

◆昭和六十二年の第一小学校六年生の平均タイム

二つめとして、昭和六十二年のぼくら六年生の平均タイムを調べた。

学校図書でさがしたが、データが見つからなかった。そこで先生に相談すると、先生がデータを見つけてくださった。平均タイムは、男子は八秒五、女子は八秒八だった。

(右下に続く)

まとめ

平成二十一年と昭和六十二年の第一小学校の平均タイムを、下の「グラフ」のようにまとめた。

【グラフ】50メートル走の平均タイムの変化(第一小学校6年生)

性別	昭和62年	平成21年
男子	9.0	8.5
女子	9.3	8.8

調査をきっかけに、もっと速く走れるようになるにはどうすればいいのだろうかと考えようになった。

これからも、体力や運動の仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に運動に取り組みたい。

五メートル走の平均タイムの変化

第一小学校 六年 山 中 洋 平

一 調べた理由

「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を見つけた。そこには、全国の小学校六年生の五メートル走の平均タイムが下の「表」のようにまとめられていた。平成十九年のタイムが、二十年前の昭和六十二年よりもおそくなっていた。

【表】50メートル走の平均タイムの変化(全国の小学校6年生)

性別	昭和62年	平成19年	昭和62年	平成19年
男子	8秒90	8秒91	9秒91	9秒19

二 調べた内容と結果

第一小学校における六年生の五メートル走の平均タイムの変化について、平成二十一年(現在)と、昭和六十二年(記事で取り上げられていた約二十年前)を取り上げて調べた。

(左下に続く)

1 六年生の山中さんは「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を読んで、興味をもちました。そこで、自分たちの小学校における五メートル走の平均タイムの変化について調べ、次の報告文を書きました。よく読んで、あとの問いに答えます。

◆平成二十一年の平均タイム

①

日時 平成二十一年四月十五日 三時開始

場所 運動場

人数 男子三十五人 女子三十五人

準備 記録用紙、ストップウォッチ、コーン

② 平均タイムを先生に出してもらおう

◆昭和六十二年の平均タイム

①

ア

二 山中さんは、報告文の「ア」の中に、調べて分かったことを書きました。あなたならどのような内容を書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 第一小学校の六年生の平均タイムの変化が分かるように書くこと
- 報告文の「一 調べた理由」に書かれた内容と結びつけて書くこと
- 八十字以上百字以内にとめて書くこと

(メモ) 書きの順序は必ずしもこのとおりで、読んでもらってもよい。解答は、報告文の横線に書きましょう。

100字 50字

一 次は、山中さんが調べる内容を書いたメモの一部です。報告文の「二 調べた内容と結果」を読んで、【ア】の中に入るふさわしい内容を書きましょう。

【メモの一部】

また、この問題は、無解答児童が25%見られるなど、「大事なキーワードを見抜いて書く。」「まとめの文章を書く。」ということに抵抗感が見られた。授業の中だけでなく、普段の生活の中でも、「調べて分かったことを書く」「メモを書く」「キーワードでまとめる」など、書くことに抵抗なく取り組めるような姿勢を身につけさせる必要がある。

算数 A

< 領域ごとの定着状況 >

	全国	市	本校
数と計算	82.8	83.6	83.6
量と測定	78.5	80.1	78.8
図形	81.3	83.9	82.9
数量関係	64.2	69.8	59.2

算数 B

	全国	市	本校
数と計算	55.8	58.4	55.2
量と測定	59.9	61.7	57.1
図形	56.4	59.1	53.8
数量関係	56.8	59.1	57.5

< 問題形式による定着状況 >

	全国	市	本校
選択式	76.7	77.1	75.5
短答式	79.5	82.1	79.8

	全国	市	本校
選択式	68.9	69.4	68.8
短答式	63.7	65.7	61.8
記述式	36.8	40.2	36.8

算数の定着状況は、

A・B問題とも国の平均とほぼ同等の結果となっている。

算数 A に関しては、次のような基本的な計算は、高い正答率を上げている。

	正答率
(1) $153 + 49$	(本校 97.5%、国 95.1%)
(2) 725×8	(本校 86.3%、国 85.6%)
(3) $204 \div 4$	(本校 96.3%、国 95.4%)
(4) $48.1 \div 1.3$	(本校 87.5%、国 80.4%)
(5) $\frac{7}{6} \frac{\quad}{6} \frac{2}{6}$	(本校 98.8%、国 97.8%)
(6) $80 - 30 \div 5$	(本校 60.0%、国 66.8%)

一方、 の問題の中でも、(6)のように複数の計算になると、急激に正答率が下がり、基本的な知識を応用していく力に課題が見られた。

また、A問題の中では、割合を求める問題に課題が見られた。

(本校正答率 50.0%、国 56.9%)
ある会場に小学生が集まりました。集まった小学生 200 人のうち 80 人が女子でした。女子の人数は、集まった小学生の人数の何%ですか。下の 1～4 までの中から 1 つ選んで番号を書きましょう。
0.4% 2.5% 40% 80%

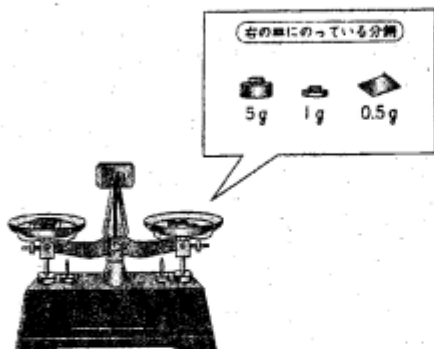
また、B問題においても、の(1)やの(3)のように1つの式や1つの考えで答えられる文章問題は比較的正答率が高いが、複数の式が必要となる文章問題は全国的にも、本校の児童も低調な結果であった。

平均の児童も低調な結果であった。
正答率が高い1つの式でできる問題

II

上とてんびんと分銅を使って、いろいろな物の重さを調べています。

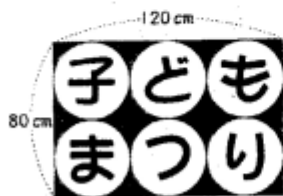
- 1) たかしさんは、消しゴムの重さをはかっています。
下の図のように、左の皿に消しゴムをのせ、右の皿に5g、1g、0.5gの分銅を1つずつのせるどつりあいました。
左の皿にのせた消しゴムの重さは何gですか。答えを書きましょう。



——正答率が低い、複数の式や思考のいる問題

I

- 13) 下の図のように、6つの円の中に「子どもまつり」と書かれた長方形の紙があります。



紙のたての長さは80 cm、横の長さは120 cmで、図のように、紙いっぱい6つの同じ大きさの円がはかれています。

これと同じものを作りたいので、1つの円の半径の長さが何 cm になるかを求めます。

ゆうじさんは、紙のたての長さを使って、1つの円の半径の長さを、次のように求めました。

III

- 12) よう子さんたちは、おみやげ売り場に来ています。
この博覧会で売られているハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの定価は、次のとおりです。

ハンカチ	ボールペン	ノート	消しゴム
350円	280円	250円	200円

ようさんは、ハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの中から2種類の品物を買おうと思っています。使える金額は500円です。

ようさんは、次のことに気がつきました。



ハンカチを買うと、もう1種類の品物が買えません。

よう子

ハンカチを買うと、もう1種類の品物が買えないわけを、式と言葉を使って書きましょう。

ゆうじさんの求め方

式	$80 \div 2 = 40$ $40 \div 2 = 20$	答え	20 cm
---	--------------------------------------	----	-------

説明 紙のたての長さは80 cmです。
円がたてに2つならんでいるので、 $80 \div 2 = 40$ で直径の長さを求めました。
半径の長さは直径の半分なので、 $40 \div 2 = 20$ で半径の長さを求めました。
だから、半径の長さは20 cmです。

ゆうじさんと同じ求め方で、紙の横の長さを使って、1つの円の半径の長さを求めると、どのような式と説明になりますか。
下にある求め方の、2つの式の□の中には数を、()の中には言葉と式を入れましょう。それぞれ解答用紙に書きましょう。

求め方

式	$120 \div \square = \square$ $\square \div \square = \square$	答え	20 cm
---	--	----	-------

説明 紙の横の長さは120 cmです。

だから、半径の長さは20 cmです。

以上のような結果から、

授業中や家庭学習の場において、持っている知識を活用し応用的な問題を解く場の設定
帯タイム(チャレンジタイム)の活用により、より一層の基礎的知識の習得
子どもたちから、多様な解き方・考え方が引き出されるような授業づくり
を工夫しながら、子どもたちの力を高めていきたい。